

数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム  
令和5年度四国ブロック総会議議事次第

日 時 令和6年3月6日(水) 16:00～  
場 所 香川大学南キャンパス総合教育棟(DRI棟) 1階 第11講義室  
参加者 別紙名簿のとおり

議 題

1. 令和5年度四国ブロック活動報告について
2. 令和6年度四国ブロック活動計画について
3. 四国経済産業局との協力体制について
  - ・ 実務家教員派遣プログラムについて
4. その他

配付資料

- 議題資料1 香川大学 数理・データサイエンス・AI 教育事業の充実と四国ブロックへの展開
- 議題資料2 数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム令和6年度四国ブロック活動計画
- 議題資料3 実務家教員派遣希望様式(案)

数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム

令和5年度四国ブロック総会出席者名簿

日 時 令和6年3月6日(水) 16:00～

場 所 香川大学幸町南キャンパス  
総合教育棟(DRI棟)1階第11講義室

国立大学

機関名	所属等	職名	氏名	遠隔参加
徳島大学	理工学部	教授・副理事	寺田 賢治	遠隔参加
	教養教育院	准教授	大藪 進喜	遠隔参加
	デザイン型AI教育研究センター	助教	瓜生 真也	
鳴門教育大学	技術・工業・情報科教育コース	准教授	阪東 哲也	
	数学科教育コース	准教授	田中 晴喜	
愛媛大学	大学院理工学研究科	教授	平野 幹	
	大学院理工学研究科	教授	尾國 新一	遠隔参加
	教育学部	准教授	原本 博史	遠隔参加
高知大学	理工学部門	教授	佐々 浩司	遠隔参加
	理工学部門	教授	野村 昇	
	データサイエンスセンター	助教	斎藤 卓也	遠隔参加
香川大学	大学教育基盤センター	センター長 教授	高橋 尚志	
	大学教育基盤センター	副センター長 教授	林 敏浩	
	大学教育基盤センター	数理情報・遠隔教育部長 教授	宮崎 英一	
	大学教育基盤センター	准教授	西本 佳代	
	大学教育基盤センター	特命講師(数理DS)	藤澤 修平	
	地域強靱化研究センター	特命講師	久保 栞	

公立大学

機関名	所属等	職名	氏名	遠隔参加
高知県立大学	副学長		五百藏 高浩	遠隔参加
	教務支援部	部長	大野 倫睦	遠隔参加
香川県立保健医療大学	保健医療学部 看護学科	教授	比江島 欣愼	

数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム

令和5年度四国ブロック総会出席者名簿

私立大学

機関名	所属等	職名	氏名	遠隔参加
徳島文理大学	副学長・教授		梶山 博司	
	理工学部 電子情報工学科	教授	山本 由和	
	人間生活学部メディアデザイン学科	教授	古本 奈奈代	遠隔参加
四国大学	経営情報学部 メディア情報学科	教授	池田 充郎	遠隔参加
高松大学	学長		佃 昌道	
	経営学部	教授	浮穴 学慈	
聖カタリナ大学	人間社会学科	准教授	田村 昌彦	遠隔参加
	人間社会学科	助教	黒田 卓哉	遠隔参加
松山東雲女子大学 松山東雲短期大学	人文科学部	教授	小西 敏雄	遠隔参加
香川短期大学	学生支援部	部長・教授	織田 潤二	
せとうち観光専門職短期大学	観光振興学科	准教授	吉田 雄介	

国立高等専門学校

機関名	所属等	職名	氏名	遠隔参加
新居浜工業高等専門学校	電子制御工学科	准教授	占部 弘治	遠隔参加
弓削商船高等専門学校	商船学科	准教授	佐久間 一行	
高知工業高等専門学校	ソーシャルデザイン工学科	教授	横井 克則	遠隔参加
香川高等専門学校	機械工学科	教授	吉永 慎一	遠隔参加

陪席者

機関名	所属等	職名	氏名	遠隔参加
文部科学省	高等教育局専門教育課	主任	笠原 誠幸	
	高等教育局専門教育課	係員	福井 美乃	
東京医科歯科大学	統合教育機構	教授	木下 淳博	
	統合教育機構	特任講師	須藤 毅頭	

機関名	所属等	職名	氏名	遠隔参加
四国経済産業局	製造産業・情報政策課	総括係長	田村 浩晃	
	製造産業・情報政策課	情報産業係長	合田 俊樹	

数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム

令和5年度四国ブロック総会出席者名簿

陪席者

機関名	所属等	職名	氏名	遠隔参加
徳島大学	学務部教育支援課	課長	岩森 清澄	
	学務部教育支援課	副課長	齋藤 京子	遠隔参加
鳴門教育大学	教務部教務課教務係	係長	大林 洋之	遠隔参加
	教務部教務課教務係	係員	三室 俊治	遠隔参加
愛媛大学	研究支援部情報システム課	課長	森田 誠	遠隔参加
	研究支援部情報システム課	事務補佐員	越智 愛	遠隔参加
	データサイエンスセンター	研究補助員	石川 由美	遠隔参加
高知大学	学務部学務課	課長	西村 宜浩	遠隔参加
	学務部学務課全学・共通教育係	係長	福島 愛加	遠隔参加
	学務部学務課全学・共通教育係	係員	晦日 研	遠隔参加
徳島文理大学	教務部	部長	佐々木 尊	
	教育研究支援課	課長	細川 典宏	
	教務部 教務課	係長	安藝 和加	
香川大学	大学教育基盤センター	教授	岡田徹太郎	
	大学教育基盤センター	教授	松本 洋明	
	大学教育基盤センター	教授	三宅 岳史	
	教育・学生支援部	部長	藤沢 博伸	
	教育・学生支援部 修学支援課	課長	角田 圭美	
	教育・学生支援部 修学支援課	再採用職員	澤井 直樹	
	教育・学生支援部 修学支援課	事務補佐員	松本 梨央	
	ICT教育推進室	技術補佐員	中村 可奈	
	ICT教育推進室	技術補佐員	高橋 久己	
	ICT教育推進室	技術補佐員	綾野 仁美	
教育・学生支援部 修学支援課	事務補佐員	萬木 理恵		

# 香川大学 数理・データサイエンス・AI教育事業の充実と四国ブロックへの展開

四国ブロック総会

議題資料1

2024年3月6日



## 数理・データサイエンス・AI教育強化拠点 コンソーシアム四国ブロックワークショップ

### テーマ★リテラシーレベル申請に向けて～事例紹介～

四国ブロックでは、認定制度(リテラシーレベル)申請に向けてのワークショップを開催します。認定を受けた大学の経験談を通じて、今後申請を予定している大学へ情報提供を行い、リテラシーレベルの普及を目指します。数理・データサイエンス・AI教育に取組み、同教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)申請に関心のある方々の参加をお待ちしております。

また、ワークショップ後に個別相談会を開催します(対面参加のみ)。数理・データサイエンス・AI教育、同教育プログラム認定制度申請方法等でご質問やご相談ございましたら、ぜひご参加ください。

日 時 ●令和5年12月5日(火) 13:30～15:30

場 所 ●徳島大学 常三島キャンパス教養教育4号館4階 404講義室

形 式 ●対面とオンライン(Zoomb)によるハイブリッド開催

対象者 ●高等教育機関(大学・短期大学・高等専門学校)の教職員等

定 員 ●会場参加 50名 オンライン参加 100名

参加費  
無料

プログラム	時間	内容
	13:30	開会挨拶 香川大学 大学教育推進センター センター長 高橋 尚志
	13:35	文部科学省 文部科学省 高等教育局専門教育課 課長補佐 奥井 雅博
	13:55	事例紹介1 四国大学 学長 松本 和典
	14:15	事例紹介2 松山県立女子大学 人文科学部 教授 小西 敏雄
	14:35	事例紹介3 徳島大学大学院 学校教育研究科 准教授 坂東 望也
	14:55	閉会挨拶 徳島大学 デザイン型AI教育研究センター センター長 石田 穂広
	15:00	個別相談会

参加方法 申し込み期間中に各自各自のPCから参加申し込みフォームに必要項目を入力してご登録ください。この申し込みは、システムが自動的に承認メールを送信します。オンライン参加(Zoomb)の参加も承認メールに北送しています。

申込受付期間: 10月23日(月)～11月30日(木) <https://forms.office.com/r/e8a0wz4H2>

●主催: 数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム四国ブロック  
●詳細: 香川大学 数理・データサイエンス・AI教育HP <https://www.kagawa-u.ac.jp/mmdsai/news/>  
●お問合せ: データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム四国ブロック  
事務局一香川大学 修学支援課 Tel:087-832-1363 Email:ds-ai-shikoku-h@kagawa-u.ac.jp

## 運営会議・総会

- ◆ 令和5年7月 第1回 運営会議メンバーによる各県のヒアリング状況
- ◆ 令和5年12月 第2回 西日本アライアンスPBLについて
- ◆ 令和6年2月 第3回 四国ブロックの令和5年度の活動報告
- ◆ 令和6年3月 令和5年度四国ブロック総会(於:香川大学)

## 会員校拡大へ向けての取り組み

- ◆ 令和5年4月 香川短期大学、四国学院大学に訪問
- ◆ 令和5年4月 せとうち観光専門職短期大学に訪問
- ◆ 令和5年9月 香川高等専門学校との意見交換会
- ◆ 令和5年12月 リテラシーレベル申請に向けてのワークショップ  
徳島大学会場参加: 36名 オンライン: 45名

## シンポジウム

令和6年3月 四国ブロックにおける数理・データサイエンス・AIの深化 –今年度の成果と展望–

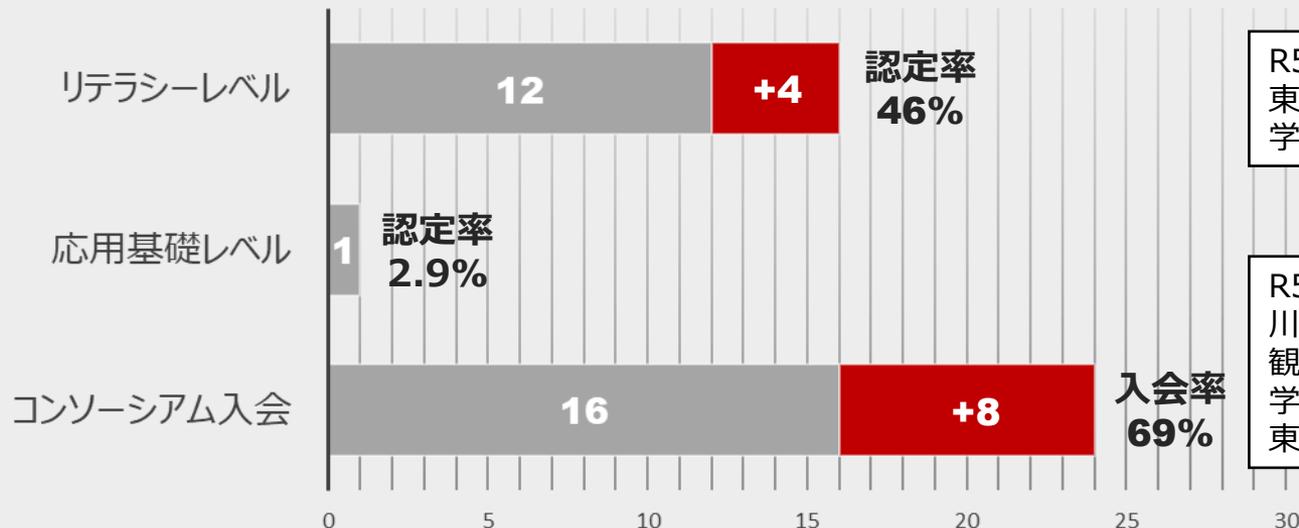
## 大学・地域共創プラットフォーム香川での展開

- ◆ 令和5年6月 第1回進学教育部会
- ◆ 令和5年9月 第2回進学教育部会
- ◆ 令和5年12月 第3回進学教育部会

## 実務家教員に関する取り組み

- ◆ 令和5年10月 四国経済産業局と意見交換
- ◆ 令和5年11月 大豊産業に企業訪問

## 四国ブロック35校の認定状況、コンソーシアム入会状況（令和5年12月5日時点）



R5認定：松山東雲女子大学、松山東雲短期大学、弓削商船高等専門学校、香川県立保健医療大学

R5入会：四国大学短期大学部、香川短期大学、聖カタリナ大学、せとうち観光専門職短期大学、高松短期大学、香川県立保健医療大学、松山東雲女子大学、松山東雲短期大学

数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム  
四国ブロックのホームページを再構成

<https://www.kagawa-u.ac.jp/mmdsai/>

### コンソーシアム四国ブロック

・連携校の募集

**JOIN OUR BLOCK**

数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム四国ブロックでは、連携校を募集中です。

※文部科学省が選定した拠点校及び特定分野校と併せて会員校とします。

連携校となることを希望する大学・短期大学・高等専門学校は、以下の申請書に必要事項をご記入のうえ、提出ください。

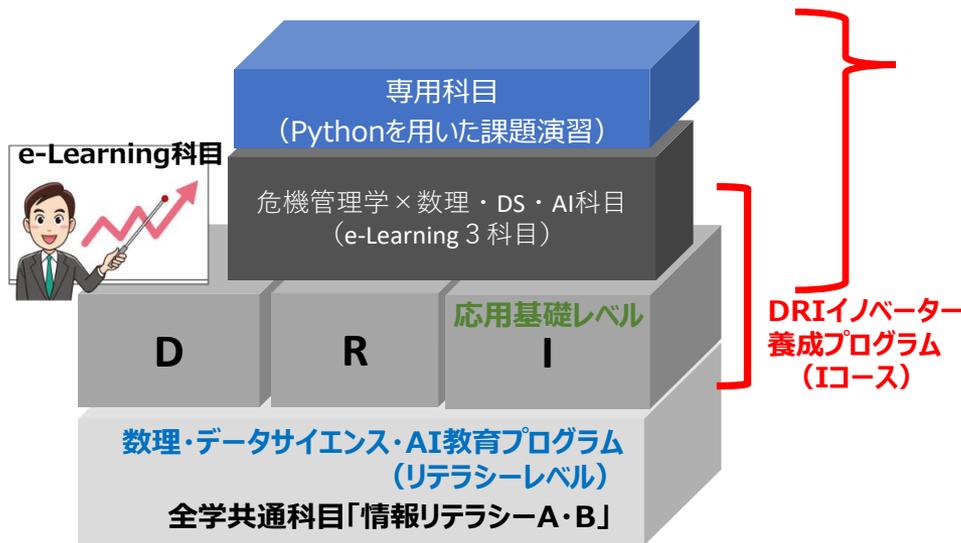
詳細は、募集要項をご確認ください。

# 香川大学 数理・データサイエンス・AI教育事業

「危機管理学×数理・データサイエンス・AI」による応用基礎力教育モデルの展開と普及

事業の概要：香川大学における数理・データサイエンス（DS）・AIに係るリテラシーレベル・応用基礎レベルの教育プログラムに「危機管理学×数理・DS・AI」科目を加えて、数理・DS・AIの応用基礎教育モデルの展開と普及を図る。

<具体的な取組内容・方法>



## 危機管理学×数理・データサイエンス・AI教育 特別プログラム

### ◆応用基礎レベルの上位プログラム

- <修了要件>・ネクストプログラム「DRIイノベーター養成プログラム」Iコース修了
- ・対象科目（e-Learning科目）（各1単位×3科目）修得
  - ・専用科目（Pythonを用いた課題演習）（2単位）修得

## 応用基礎レベル

### ◆DRI（デザイン思考、リスクマネジメント、数理・情報）能力の育成

- ・創造工学部を中心に平成30年度（学部設置時）から展開
- ・全学展開のためネクストプログラム「DRIイノベーター養成プログラム」（Dコース、Rコース、Iコース）を令和2年度開始
- ・同プログラム（Iコース）により令和4年8月MDASH Advanced Literacy認定

## リテラシーレベル

### ◆文系理系の専門分野に関わらず、データサイエンスの基礎を理解させる

- ・全学共通科目「情報リテラシーA・B」は全学部の1年生を対象にした必修科目（※「情報リテラシーB」はe-Learning科目）
- ・「情報リテラシーA・B」により令和3年8月MDASH Literacyの認定

### 成果指標（連携大学への普及）

- ◆リテラシーレベル：四国内高等教育機関
- ◆応用基礎レベル：四国国立5大学

連携大学  
(四国内)

#### 5 国立大学法人の連携

四国5国立大学の共同するデータサイエンス部会及び四国ブロック運営会議を通じて、四国内での情報収集、事業展開を行う。

四国内の5国立大学法人の連携事業（知プラe事業）に基づき、e-Learning科目として開発した教材を提供し普及する

数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム



連携大学  
(各県)

#### 各県の地域連携プラットフォーム

県内地域連携プラットフォームを通じて、地方公共団体、産業界、県内高等教育機関への普及を展開する

数理・データサイエンス・A I 教育強化拠点コンソーシアム令和6年度四国ブロック活動計画

四国ブロック総会  
議題資料 2  
2024年3月6日

開催月 会議名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営会議			愛媛大学						香川大学			
総会											香川大学 (固定)	
ワークショップ			愛媛大学									
シンポジウム											香川大学 (固定)	

香川大学 宛 年 月 日

学校名		
講義名		
対象学年・学部		
開講時期	年度	前期
	月	～
	月	
担当教員		
講義内容		※シラバスをベースにご記入ください。 ※該当するシラバスのページをPDFデータを添付してください。
講義の到達 目標及びテーマ		
全体カリキュラム (情報、数理・ データサイエ ンス)における本講 義の位置づけ		
講義形式		
キーワード		

※続けて②シートをご回答ください

実務家教員への依頼事項	
依頼したいコマ数	※実務家教員に担当してもらいたいコマ数（授業回数）をご記入ください 全                    コマ中                    コマ
講義日時・内容	※複数日ある場合はすべてご記入ください ※行が不足する場合は適宜追加してください
	①                    年                    月                    日                    時                    分                    から                    時                    分                    まで 〈内容〉
	②                    年                    月                    日                    時                    分                    から                    時                    分                    まで 〈内容〉
依頼する理由、 期待する点	
講義で使用する機材・ ソフト	※講義で使用できる、または使用しなければならない機材等をご記入ください 例：使用できる機材：プロジェクタ等 / 使用しなければならないソフト：Microsoft Excel
オンラインでの 講義実施の可否	※オンラインでの講義実施の可否をご記入ください
複数の実務家教員に よる共同担当の可否	※1コマを複数人で対応することの可否をご記入ください
事前打ち合わせの 時期、回数	※打ち合わせの時期をご記入ください（例：授業の1か月前頃）  (    回数    :                    回程度    )
都合が悪くなった場合 の対応	※休講、講義の変更、代役などの可能な対応方法をご記入ください 例：講義日の変更あるいは休講 ※上記対応ができない場合は「不可」とご記入ください
その他特記事項	(例：持ち込みPCを学内ネットワークに繋ぐ場合、事前に申請が必要となります 等)
待遇	※詳細にご記入ください
身分	
報酬	

旅費・交通費・日当	
その他	
実務経験歴、 保有資格、 指導経験等	※特に求める資格等がなければ空欄で結構です ※行が不足しているようであれば、適宜追加してください